

「雄三通り一方通行社会実験」

JR 茅ヶ崎駅から海岸へ延びる「雄三通り」は、商店も多く、市民に親しまれている道路です。現在は、人や自転車、自動車が錯綜していることから「現況幅員において安全な道路空間を体験」するため、車道を一車線一方通行として社会実験を実施します。

1 社会実験の内容

【実施期間・実施時間帯】

実施時期・期間：「**平成20年10月16日（木）～19日（日）の4日間**」

※雨天時も実験は実施。※予備日は10月20日（月）、21日（火）とする。

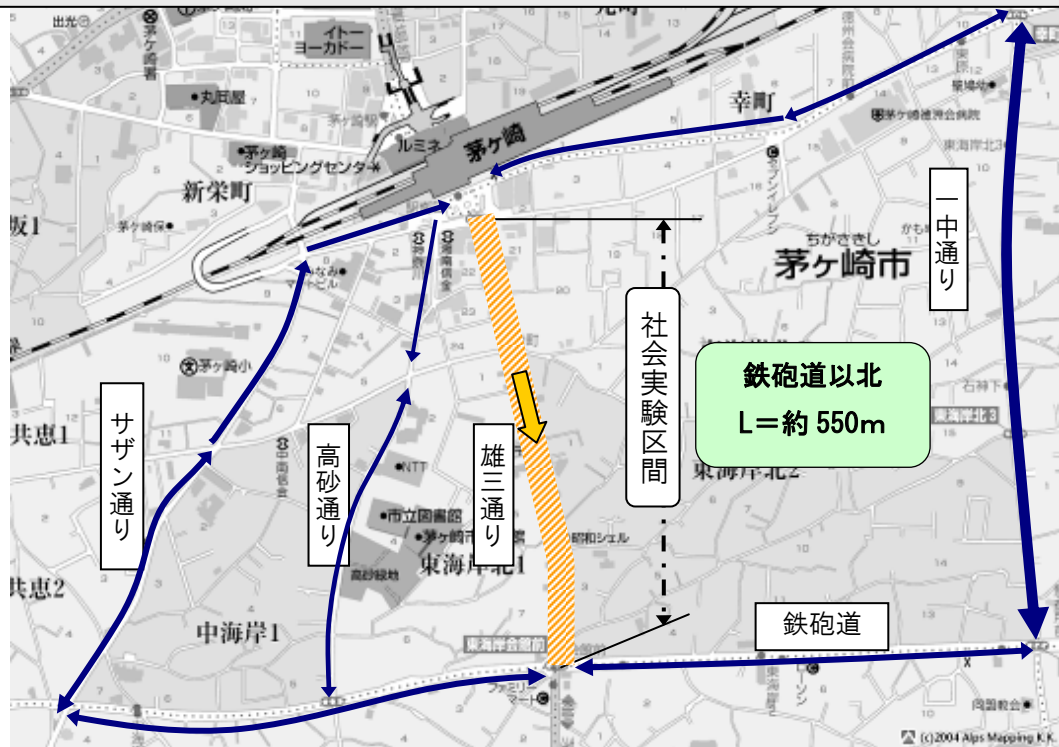
実施時間帯：**9：30～17：30**

（交通運用は準備・撤去を含め **9：00～18：00** に実施する）

【通行規制・実験区間】

通行規制：「**茅ヶ崎駅南口から海岸方向への一方通行**」

社会実験区間：「**茅ヶ崎駅南口～鉄砲道（東海岸会館前交差点）の約550m**」



【実施主体】

雄三通り社会実験実行委員会

学識経験者
自治会（東海岸北一・二丁目、東海岸南一・二・三丁目、幸町）
商店会（南駅前商店会、東海岸本通商店会）
神奈川中央交通株
神奈川県タクシー協会相模支部茅ヶ崎地区
茅ヶ崎警察署
神奈川県藤沢土木事務所
茅ヶ崎市（都市政策課、安全対策課、都市計画課、道路管理課、国県事業対策課）

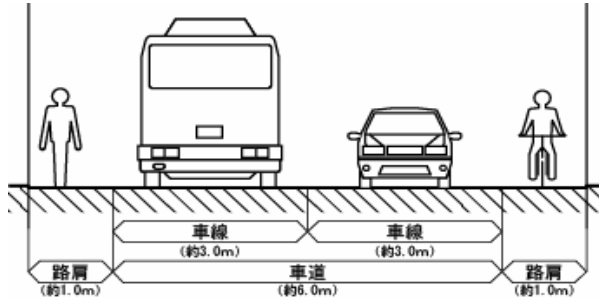
2 雄三通りの現況

県道310号（通称：雄三通り）は、JR東海道線茅ヶ崎駅の南側に位置し、駅南口から国道134号まで南北に続く全長約1220mの道路です。昭和36年に幅員20mで都市計画決定された都市計画道路ですが、現状は、幅員8.3m～9mで、歩行者等がすれ違うための安全な歩行者空間等がなく、人や自転車、自動車が錯綜しています。



「雄三通りの現況」

《現況の横断図》



3 社会実験の目的

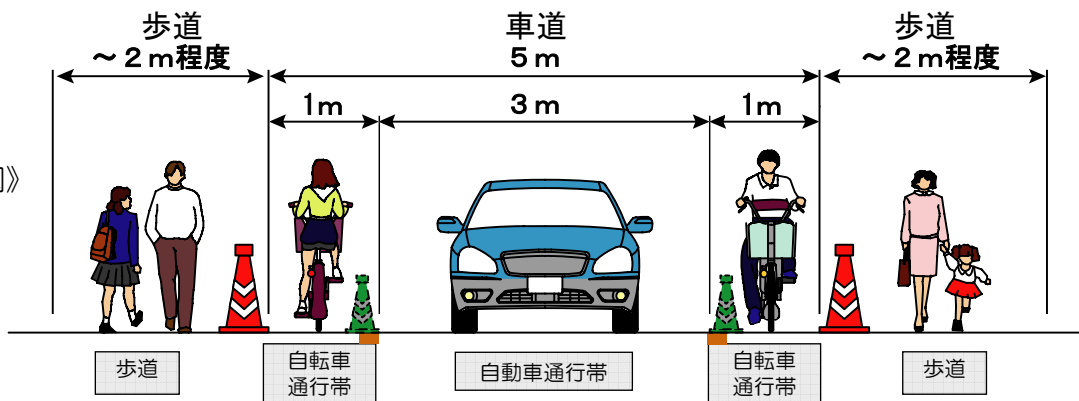
「現況幅員において安全な道路空間の体験」

現況の道路幅員の中で歩行者および自転車の空間(歩道等)を確保し、安全で安心な道路空間を体験してもらうことで、歩道等の道路空間の改善の必要性を認識する。

- ・ 歩道等の道路空間での安全性の確認
- ・ 現況幅員のままで歩道等の道路空間を確保するために自動車の走行については、一方通行が考えられるが、一方通行の運用で滑な交通確保の可能性などの検証・評価を行うものである。

【道路幅員構成・通行帯区分】

《実験時の横断図》



道路幅員構成・通行帯区分

車道：道路中央部に自動車の走行する空間（幅員3m）とその両側に自転車の走行空間として自転車通行帯（1m）を確保する。

歩道：道路の両端に幅員2m程度を確保する。

【調査・評価】

実験を評価するため、必要な調査（交通実態調査、アンケート・モニター調査）を実施します。

4 経緯と今後

市では平成17年3月より「雄三通りの今後のあり方に関する意見交換会」を開催し、住民のみなさんと意見交換を重ねています。平成19年7月には周辺住民で組織された雄三通り一方通行社会実験研究会から『雄三通り一方通行社会実験・住民提案』が市長へ提出されました。その後、実験実施に向けて、周辺住民のみなさん、学識経験者、関係機関、市が委員となり平成20年5月から『雄三通り社会実験実行委員会』を開催し、実施計画を作成しました。今後は実行委員会で「実験の実施」、「実験の評価検証」、「実験結果の公表」を行います。実験結果は、今後の雄三通りのあり方（都市計画道路を含む）を考えるための一つの検討資料とします。

